

岩手県 洋野町商工会

地域の一人暮らし、 手作り料理でおもてなし

商工会女性部大野地区（松本キヨエ代表）のメンバーは、

11月27日、大野農村環境改善センターに一人暮らしのお年寄り約30人を招き、赤飯、郷土料理「けの汁」、おからのサラダなど手作り昼食を提供した。
併せて、地域の子どもたちや女性部が踊りを披露し、地元で使える買い物券もプレゼントした。



参加したお年寄りは、「いつも一人で食べているので、みんなと一緒に食べているのがとても楽しい」と笑顔を見せ、松本代表は「みんな楽しく食べれば食欲も進みます。外出する機会が増えて喜んでもらえれば」と話していた。

広島県 上下町商工会

カーシェアリングでEV導入

商工会は12月6日、商工会に加盟している堀田輪業が5社と作る企業グループで取り組む電気自動車（EV）のカーシェアリング制度を率先利用し、支援するため、EVを公用車として使い始めた。

県のひろしまEVタウン推進

事業の補助を利用し、年度内にアイ・ミープなどEV11台を導入。充電器を備えた拠点を県内8カ所に設置する。商工会はそのなかの1台を借り、職員5人が加盟事業所への相談業務など

に出かける際に使用する。

カーシェアは車を複数の会員で共有し、使用した時間と走行距離に応じて料金を支払うシステムで、車を所有しないため、環境負荷に貢献するだけでなく、商工会の経費削減にも役立つ。

商工会では、「ガソリンを使う公用車1台は手放しました。EVを使うことで、観光のまち上下のイメージアップにもつながると思います」と意気込んでいる。



5町の青年部で カーリング体験教室

12月11日、地域住民に冬のスポーツ・カーリングを気軽に楽しんでもらおうと、空知管内・妹背牛町など5町の商工会青年部が構成する「北空知商工会広域連携青年部」がカーリング体験教室を開催した。

2003年に妹背牛町に開業した道央唯一のカーリング専用屋内施設「妹背牛町カーリングホール」(4シートを保有)に集まった小学生ら男女50人は、氷上の歩き方、ブラシの使い方、ストーンの投げ方など基本ルールや

基礎技術をカーリング関係者に教わった。

大人チーム、子どもチームに分かれて挑戦したヘルメット姿の参加者

たちは、「ストーンは意外と重たい」「子どもの中から頑張れば、冬季五輪に出られるかも」と言い合いながら氷上で楽しんでいった。



3セク、くま川鉄道応援で チャリティーもちつき大会

赤字経営が続く第三セクター・くま川鉄道を応援しようと、12月23日、商工会女性部と町議有志が同鉄道あさぎり駅前でチャリティーもちつき大会を開いた。一昨年から実施している取り組みで、今回も約20人が参加した。

前回の倍のもち米60キロを準備し、その場で蒸すかたわら、次々ときあげ、約240パックを5個入り300円で

販売。来場者はほかほかのつきたてのもちに大喜びで、当日の売上全額を同鉄道に寄付した。

議会関係者は「自治体の支援には限界があるので、いろいろな形で応援して、何とか鉄道を残したい」、同鉄道の藤木孝一社長は「地域と一体の鉄道として応援していただけて嬉しい。次回は社員にも手伝いをさせます」と話していた。

